

■海外研修旅行余滴

大東和 武司(広島市立大学国際学部教授)

2014.09.08

もう数十年続いている研修旅行に、例年通り8月下旬、約10日間の日程で参加してきた。今年は、8大学10ゼミ、学位取得後に母国で教壇に立っている現地参加の教員を入れれば、9大学総勢80名(学生69名教員11名)の大所帯であった。

この研修旅行は、主に日系海外子会社を中心として、その事業の現場を訪問することによって、机上プラス実際に、学生たちの国際ビジネスに関する問題意識を醸成し、学生たちの将来に資することを大きな目的としている。今年の場合、タイで、日系企業3社、タイ企業1社、日本語学校1校、マレーシアで、日系企業4社、1大学を訪問した。

訪問企業等には、大人数の受け入れに、いつも心から感謝している。

研修旅行の長い連続のなかで、日系企業の放射状型から網状型多国籍企業への展開推移、概して海外の歴史が浅い放射状型の子会社経営にとりわけ有効と思える日本留学生の活用(採用、育成、幹部への登用)、網状型子会社幹部の半数以上が日本人ではない現状(説明の英語化の進展)、タイ系多国籍企業的一端、日本人駐在員の役割変化あるいは現地駐在経験者の育成問題など、定点観測的な知見も得られるが、学生は毎年はじめての訪問である。

海外研修には、訪問趣旨にとどまることなく、副次的・派生的な成果がみられる。

第1には、われわれの真摯さが重要であるが、訪問企業への作用。

「学生からパワーと刺激を」「いつもとは違った視点からの質問もあり、とても楽しく対応」「積極的な質問には、レベルのかなり高い質問もあって、熱心さに本当に元気をいただいた」「学生さんとの会話、素直な質問はとても新鮮で、こちらも頑張ろうとの気持ちに」などなど、好意的なコメントをいただき、学生たちの訪問が、駐在社員、ローカル社員を問わず、子会社全体のリフレッシュ、リゾートになっているところもあるようだ。また、「学生さんたちの海外で働くモチベーションを高めることも、海外駐在員の仕事」、「双方継続することが大切」など、短期インターンシップ的に積極的に学生たちを育ててくださることもありがたいことである。

第2には、「2カ国訪問」。2カ国訪問で、日本を含む3か国のなかでの複眼的思考や三角測量的な理解が進む。

1カ国の訪問であれば、ややもすると、自文化中心主義(エスノセントリズム)となるか、逆に自文化に過剰に否定的になる場合も見られるだろう。机上では、文化相対主義ないしジオセントリック、トランスナショナル、メタ・

ナショナル、メタ・グローバルなどの考え方を学んでいても、まだ海外経験の浅い学生にとっては、その意を腑に落とし、それらを的確に捉えることはまだまだ難しいだろう。

2カ国訪問であれば、日本を含め3カ国となり、三点観測ができる。今回の場合は、同じアセアン諸国といっても、タイとマレーシアの類似点と相違点が、日本を加えることで、より明確になる。宗教的背景はもちろんであるが、食文化、慣習、就業上の留意、就業姿勢などの点で、類似点と相違点が明確になってくる。短い滞在ではあるが、日本人駐在者との対話、現地社員の対応、現地の学生との交流、市内見聞など、さまざまな機会を通じて、頭だけでなく、肌で感じることができる。学生は、川田順造(『文化の三角測量』人文書院)のいう、それぞれの基層を深く掘り下げ根源的な意味を問おうとする「論理的」までには、まだまだ至らないにしても、まずは感覚的に捉えることができる。

第3には、「訪問先学生との交流」、そして「異大学交流」である。

若さは距離をすぐに縮める。初めて訪問する大学においてもそうではあるが、とくに例年訪問しているタイでは、事前のメール交換に始まり、当日初めて会うのであるが、毎年、昼食後の別れにかなりの時間を要する。その後、来日、訪タイと長く交流している事例も多い。

さらに、「異大学交流」。関東圏、北陸、関西、中国、九州の大学がタイで合流し、マレーシアへ移動し、バンコクに戻り、分散帰国する。約10日間、一緒に過ごす。企業訪問等での質疑応答も切磋琢磨の機会になるし、各大学の文化の違いからも示唆を得、幅を広げる。研修旅行後、合同ゼミ発表会、あるいは就職活動の情報交換・宿泊の便宜など、自らの大学あるいは居住地を越えて、視野を拓げ、つながりを深めていく機会になっている。

岡潔は、「人の生命というものはその人固有のメロディーである」(『春風夏雨』角川ソフィア文庫)と述べている。実際に複眼的俯瞰的にみつつ、深く土着的な想像力も働かせながら、学生がそれぞれの調べの流れのなかに、「彩りと輝き」を加えてくれれば、それぞれの創造的な生き方への助力となる。今年も参加した研修旅行が数十年も続いているのは、こうした余滴があるからこそではないだろうか。

キーワード: [工場見学・企業訪問](#)、[海外子会社](#)